

コリスチンの適正使用に関する状況

出典元：グラクソ・スミスクライン株式会社
オールドレブ使用成績調査（社内資料）

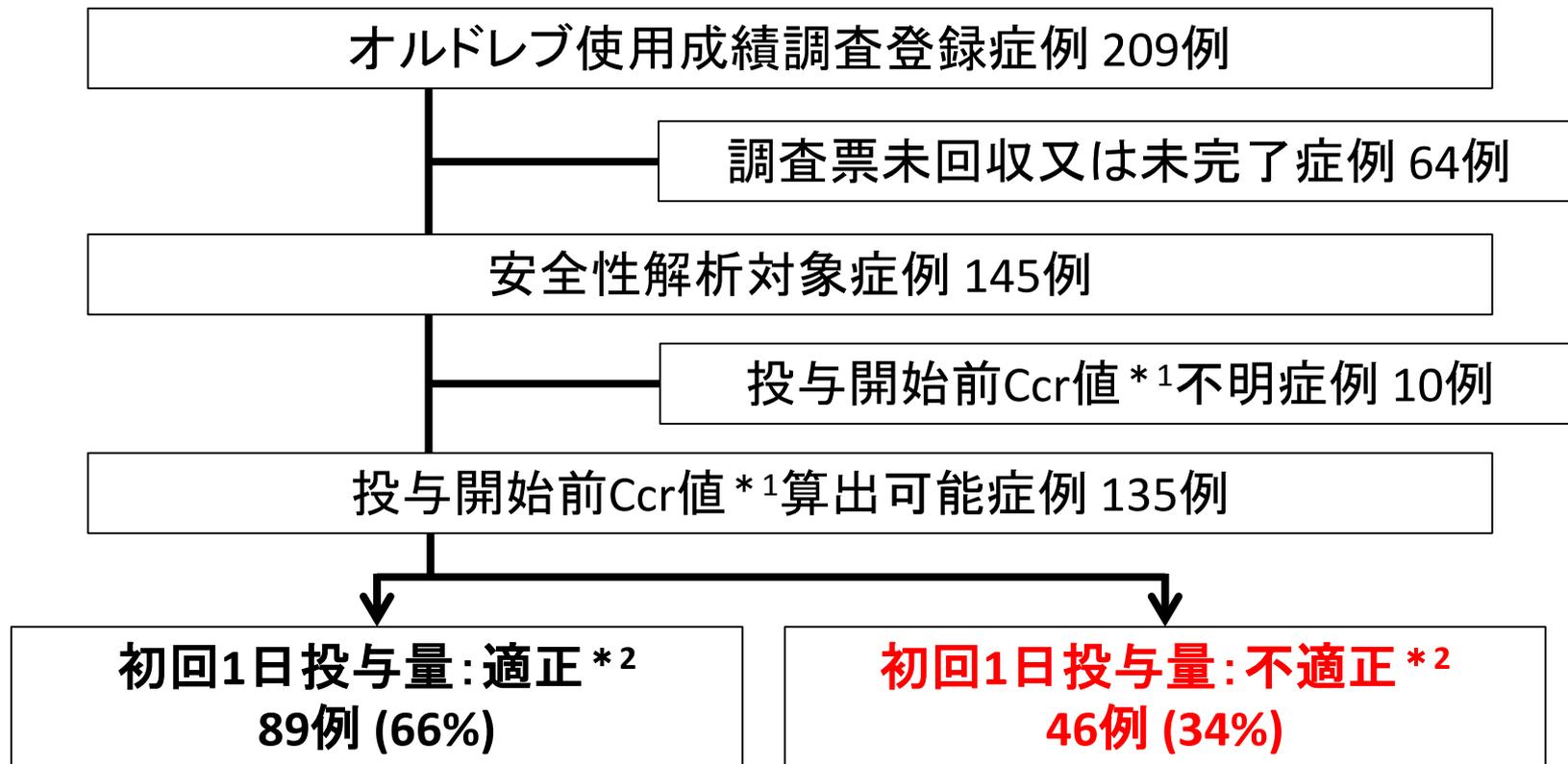
コリスチン点滴静注用150mg 用法及び用量に関連する使用上の注意

＜参考：腎機能に対応する用法・用量の目安＞

クレアチンクリアランス (mL/min)	用法・用量
≥80	1回1.25～2.5mg(力価)/kgを1日2回投与
50～79	1回1.25～1.9mg(力価)/kgを1日2回投与
30～49	1回1.25mg(力価)/kgを1日2回又は 1回2.5mg(力価)/kgを1日1回投与
10～29	1回1.5mg(力価)/kgを36時間ごとに投与

腎機能に応じた用法・用量調節の遵守状況

(2017年8月25日現在)



*1 投与開始前クレアチンクリアランス(Ccr)値:

調査票に記載された性別、生年、本剤投与開始日、体重および本剤投与開始前の血清クレアチニン値より、Cockcroft-Gault式を用いて算出

*2 初回1日投与量 { 適正: 添付文書記載用量以下
不適正: 添付文書記載用量より高用量

コリスチン点滴静注用150mg

効能・効果

＜適応菌種＞

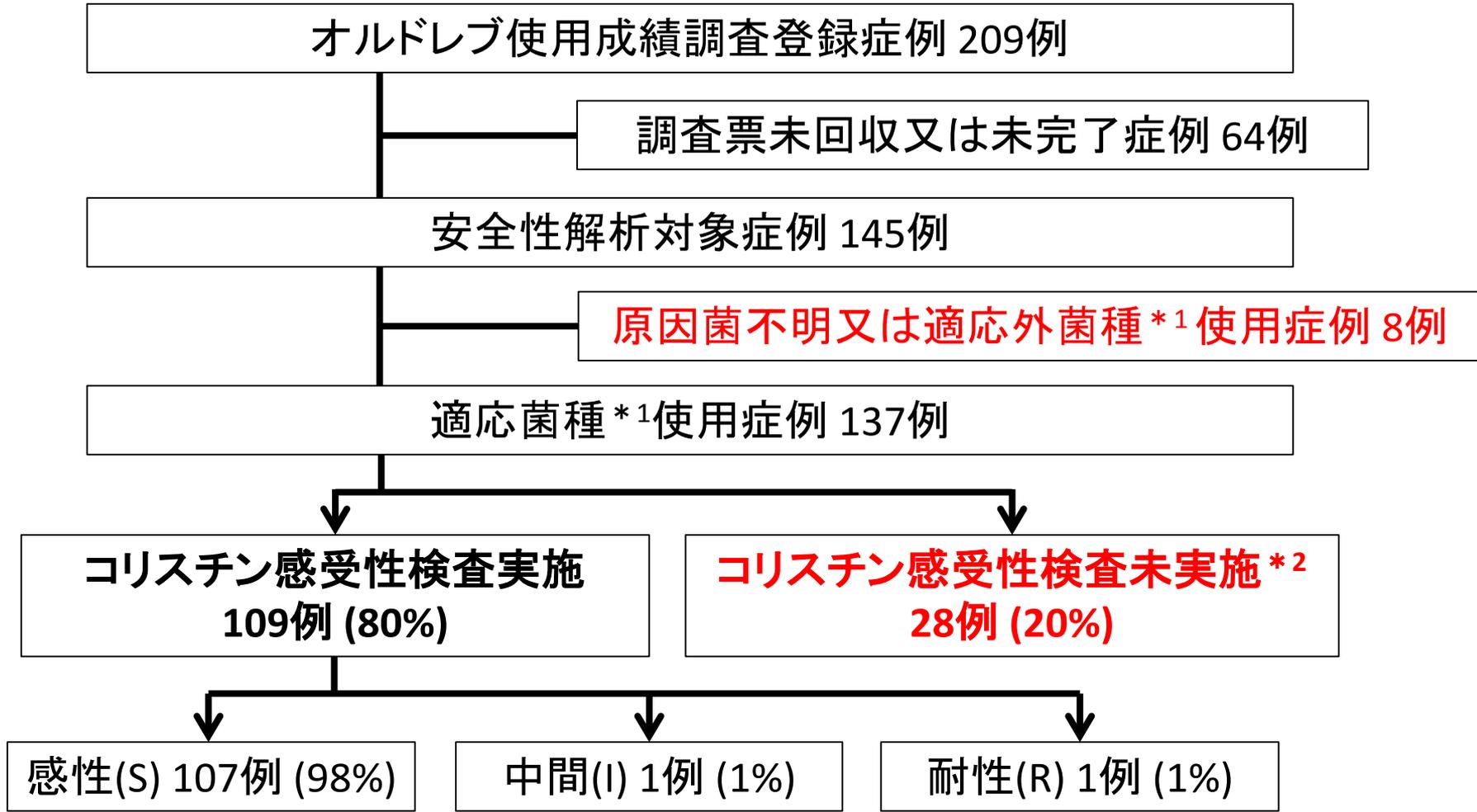
コリスチンに感性の大腸菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、緑膿菌、アシネトバクター属
ただし、他の抗菌薬に耐性を示した菌株に限る

効能・効果に関連する使用上の注意（抜粋）

1. β -ラクタム系、フルオロキノロン系及びアミノ配糖体系の3系統の抗菌薬に耐性を示す感染症の場合にのみ本剤を使用すること。
2. 原則としてコリスチン及び上記3系統の抗菌薬に対する感受性を確認した上で本剤を使用すること。

コリスチン感受性検査実施状況

(2017年8月25日現在)



*1 適応菌種/適応外菌種: 添付文書記載の適応菌種に対する使用の有無により集計

*2 コリスチン感受性検査未実施: 調査票の「薬剤感受性・感受性結果」欄が未記載の症例

コリスチン感受性検査未実施症例の病院区分別内訳・・・500床以上の大病院:20例、500床未満の中小病院:8例